

〔宮城寛淳議員 登壇〕

○11 番 宮城寛淳議員 一般質問、5点について質問していきたいと思ひます。1番目は、農業振興と所得向上について質問いたします。第2回の6月定例会でも、町やJA、農家、県へも協力を求めてファーマーズを活用しながら地産地消を進めていくことは必要ではないかというような同趣旨の質問を行いました。そのときの答弁は、地産地消の推進については、以前から役場や生産農家で構成する農村生活研究メンバー等を中心に普及センター、南部農林、小規模ネットワーク山川あみの会などで、カボチャやヘチマを使用したレシピの開発取組などを行っている、くがに市場の店内施設にも試食コーナーが設けられているとか答弁がなされておりました。いろんな創意工夫、料理のレシピを作ったり、商品開発が出てくることは、農家の皆さん方が生産した農産物を利用してそれが消費されていくということだと思ひますし、所得向上につながっていくことになると思ひます。この所得向上をもっともっと行っていく意味から、今度の質問をしているわけです。1つは六次産業。要するに、加工した農産物についてであります。当町としてどういうふうに取り組んでいるのかをお伺ひいたします。そして、そういった六次産業をJAと協力してくがに市場近くに農産物の加工所を設けることができないのかどうか。市場で売れ残ったもの等を加工して提供する。売れ残ったものだけでなく規格外の野菜、そういうものも加工していくと、要するに農家の皆さん方が生産したものを残さず消費していくことができないかということで六次産業の加工所をどういうふうに行っていくのかということ。提供できないかという質問であります。

それから、2点目の中央公民館を利用する際の空調料金についてでありますけれども、中央公民館のクーラー利用料が高いという声が多く町の民から聞こえてまいります。先だつての連合審査においても議員のなかから料金が大きいという質問も出されておりました。黄金ホールはそれだけ大きいホールで、クーラー代もそれだけかかるのですが、それ以外の会議室などが今現在1時間1,000円で設定されています。その料金にした根拠が何なのか、そのことをお聞きしたいと思ひます。議会で提案されて、私たちもこの1,000円というのはこれまで1,000円だったのだからいいじゃないかと賛成をしてきた経緯もありますけれども、ただ、その1時間1,000円という根拠が何なのかです。その点をぜひお伺ひしたいと思ひます。それまでやっていたからそのようにしましたということではなくてそのへんのことをぜひお聞きしたいと思ひます。それからクーラーの燃費からしますと、今、家電、いろんな設備などの燃費は年々良くなってきています。そういうことから考えまして、1時間1,000円は割高ではないかと思ひます。そういう意味からの質問であります。それで、町内の他の施設と比べて料金はどのなのでしょう。料金をもっと安くすべきではないかという質問であります。

それから3点目、国保特会へのその他一般会計からの繰出金が今まで項目としてあつて、保険料金の負担増にならないようにと一般会計から国民健康保険特会への繰出を行つてきております。平成26年度はゼロとなっているわけですがけれども、これが前期高齢者の合計が全国に比べて少ない、大きな赤字となっている、その赤字をはっきりと見せるためだと説明しておりました。その点は、それで間違いないのかどうか、その理解でいいのかどうか確認のための質問です。(2)前期高齢者の不公平

さを是正するまで繰入を行わないのか、そのことにメリットはあるのかどうか。これまでどおり一般会計からの繰入をやってはどうかという質問であります。今回のこの質問は、国保会計を今後どのように運営していくのか確かめたい意味もあります。ずっと赤字が続いているわけですから、保険料のアップにつながらないのか大きな懸念があるわけです。ぜひ国保会計をこうやっていくのだと、この赤字をこういうふうに解消していくのだということを見せて欲しいと思います。これまでも何度か関連した議案が出てきた時に何度か確かめたのですけれども、当面の間は保険料のアップを行う予定はないというような答弁をいただいています但实际上にどうなのだろうと思います。例えば都道府県別に一国会計というようなことも出ていますし、ではその時にどうなるのか、それまでどうするのかたいへん心配なものですから、これまでのように繰入をしてアップを抑えることもぜひやって欲しい意味からのこういう質問であります。

4点目に、鉄軌道の実現に向けてということでの4つ目の質問であります。平成31年度着工を目指して県では調査が行われているようです。那覇市一名護間を1時間で結ぶ鉄軌道を作ろうと、それでそのルートは東海岸なのか西海岸なのか、そういったことなど調査が行われているようですけれども次年度も鉄軌道の予算として1億円あまりが見込まれていると聞きました。27年度も当初は2億いくらかでした約1億1,000万円の予算が組まれています。当町としては、この鉄軌道についてどう対処しようとしているのか、その点をお伺いしたいと思います。それから、国道329号を那覇から与那原間をLRTで結ぶ案が検討されているようです。先だって南風原商工会での勉強会に参加する機会があったのですけれども、LRTのことがいろいろと取り沙汰されていました。メリット、費用の問題いろいろありました。そういうなかで那覇や与那原では話し合いが進んでいるのではないかと講師の方はおっしゃっていたのですけれども、南風原町はそれにどう加わっているのか、その点をお伺いしたいと思います。

5点目に、シルバー人材センターの設立についてであります。このことも何度も一般質問に取り上げてきたのですけれども、高齢者の皆さんが豊かな知識・経験を、まちづくり、社会のために役立っていく、活かしていく、そういったシルバー人材センター設立を実現して欲しいという声が町民の間にあります。センターを設立したある自治体では、多くの皆さんが働いているようであります。そして生きがいになっていると、南風原でもぜひ設立すべきではないかと思えます。これまで当町の人材を活用する事業がいろいろありましたけれども、その事業の実績はどうなっているのか。またそれに係る費用はどうなっているのか、その点をお伺いしたいと思います。(2)シルバー人材センターの設立ではなく、今ある当町の人材活用をする事業で十分に対処できるとおっしゃっていたのですけれども、その今ある事業で十分に対応できているのか。町民の要求は満たされているのかどうか、その点をお伺いしたいと思います。以上、よろしく申し上げます。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは、質問事項の1点目、農業振興と所得向上を(1)についてお答え

します。平成24年度から一括交付金を活用した異業種連携等により商品開発及び企業との連携を目的とした、ものづくり産業展開プロジェクト実施による農産物の確保や販路先の開拓についての検討や農業生産者が自ら農産物の加工や販売など経営の六次産業化に取り組むための支援として、農業漁村六次産業支援事業補助金（アグリチャレンジ事業）を実施しております。（2）についてです。JAに確認したところ、ファーマーズとの販売委託契約約款により売れ残った商品は農家にて引き取り処分を行う契約だとのこと。また、品質に問題のない規格外の商品等は、カット野菜として販売が可能なのがファーマーズマーケットの利点ですので、登録農家の皆さんには有効な販売に取り組んでいただきたいと思います。また、くがに市場くがに市場で加工品の販売も行われておりますが、JAでの加工所の取組や契約は現時点ではないとのこと。

3点目の国保特会へのその他一般会計繰入金について（1）ですが、これまで説明したことについて間違いがないかということでもあります。そのとおりであります。（2）についてです。国に要請している財政支援の有無、都道府県単位化などの状況等も踏まえながら判断をしていきたいと考えています。

質問事項4点目、鉄軌道の実現に向けて（1）についてです。去る5月25日に沖縄県鉄軌道計画案策定に向け、市町村との情報共有を図ることを目的に、「第1回沖縄鉄軌道市町村会議」の南部圏域の会議が開催されました。内容は、沖縄県の交通の現状と課題及びこれからの検討体制等について説明がありましたが、その後の市町村への具体的な計画の説明はなく、現時点での本町として具体的な対処案はありません。（2）についてです。LRTについては、平成24年6月より那覇市、与那原町、西原町に本町を加えた自主的な勉強会が開催され、今年の7月7日までに10回の勉強会が行われております。

5点目についてです。（1）町の人材を活用する事業としては、町社協で実施していますファミリーサポートセンター事業、まちづくりサポートセンター事業、そして町で実施している人材サポートセンター事業があります。それぞれの平成26年度実績と費用については、ファミリーサポートセンター事業が798件の活動実績で、事業費は約386万円です。まちづくりサポートセンター事業は、385件の活動実績で、事業費は約3万円です。人材サポートセンター事業は、新規求人登録者数11人、新規求職登録者数30件でマッチング数11件の実績、事業費についてはありません。（2）現在の取組活用と充実を図ることで対応していきたいと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 宮城寛淳議員の質問事項2、中央公民館利用時の空調施設の料金についての質問にお答えします。（1）でございますが、平成23年度に現在の南風原町立中央公民館がオープンするに伴い、条例改正においてクーラー使用料は旧公民館の料金を据え置いたままでの改正をいたしました。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 宮城清政君 暫時休憩します。

休憩（午前 11 時 27 分）

再開（午前 11 時 27 分）

○議長 宮城清政君 再開します。

○教育長 赤嶺正之君 休憩中でお話しましたとおり、1,000 円の根拠につきましては先ほど答弁した回答しかできないことをご理解お願いしたいと思います。

それから、クーラーの燃費からすると割高ではないかというご質問でございますけれども、先ほどの答えと関連しますが、旧公民館の時と同じ据え置いたままの料金でこれまでも公民館活動をしておりますし、また、最近の料金設定と申しますかいろいろな資料を収集した結果、特段割高であるとは言えないのではないかというような認識を持っております。

（２）でございます。町内施設で料金は南風原町総合福祉センター研修室が 500 円、南風原文化センター研修室 300 円となっております。そういうことでございますけれども、中央公民館のクーラー料金の改正は、現時点で考えておりません。以上です。

○議長 宮城清政君 11 番 宮城寛諄議員。

○11 番 宮城寛諄議員 一問一答でやっていきたいと思っております。先ほど一括交付金を活用したものであるということで、農山漁村六次産業支援事業があるとのことですが、ただこのなかで農業生産者が自ら農産物の加工や販売など経営の六次産業に取り組むと、それに対する支援とのこと。農家の皆さん方が農産物を生産することには長けているわけですが、その他にも残ったものを自分で例えば機械があるから加工してはどうかという話になりますと、これ以上、とてもじゃないが手が回りませんよとなるのです。私が思うに、例えば J A や町と一緒に加工する所があって、そこにある程度の人がいる。そこで毎日作業するというにも、それだけの野菜、原料があると僕は思えませんので、例えば一週間なり月 1 回そこで野菜の余ったものなど加工するというのが一つの方法ではないかと思うのです。生産者自らが加工する、それを支援する事業だとおっしゃっているのですが、そういうことではなくて一つの事業所、加工所を作っていくとできないのかと思います。例えば（１）と（２）を一緒に質問したいのですが、ファーマーズでは契約の中で残ったものは自分で持ち帰りなさいとなっているのでそれはそこに残っていて駄目になってしまうことはないのでしょうか、農家の皆さん方は出荷をして、残ったものは契約の中身を変えていけばいいわけで、それを加工に回すこともできるはずなのではないですか。それから、規格外でも出せないものでもカットして出すということですがそれもそれで結構だと思います。それ以外にも加工することがもっともっと農産物を活用するという意味では有効ではないかと思っております。そういった加工をやることは、農協では今のところ全く計画はないとのことですが、南風原町の農業政策としてどうなのか。農家の皆さん方の所得を向上させる意味から、そのへんをどうお考えですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。町の考え方としましては、町が率先して農家の方々を引っ張っていくというよりも、農家の方々の力をバックアップしていきながら進めていきたいという方針でございます。議員からご質問の農産物加工所につきましては、基本的に需要と供給のバランス等もあろうかと思えます。また、加工所がどうしても必要だという農家の方々の声はまだ私どものところに入ってきておりません。ファーマーズ以外の所を含めまして農産物の加工所を設けてより地産地消を進めていけるような状況ができましたら、それはそれで町はバックアップをしていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 ぜひバックアップして欲しいのですけれども、私は町がそういう方針を決めて農協とも手を組みながら、そういった農業の方針と言うか農産物そのものの販売ももちろんそうですけれども加工したのも販売していくという方針を示すべきではないかと思えます。そういった諸々の補助金の問題だとか、そういうことは町が一番よく分かるわけですし、農業政策を出すのはやはり町じゃないですか。役場じゃないのですか。私はそう思いますけれども、そのへんは農家の皆さん方が手を挙げて私たちがやりますというまでずっと待機だと、待っておくということなのですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。そういうことではなくて、町としましては一括交付金を活用して、ものづくり産業展開プロジェクトだとかアグリチャレンジ事業等でいろんな商品開発等も行っておりまして、それはそれで農家の方々にも情報提供はできます。そういったものを活用して加工品関係が進めていけたら私どもも喜ばしいことではありますけれども、今、農家の方々からの余った農産物の加工そのものに対する考え方と言うか今後の展開についても議論をしたことがまだございませんので、町としましては加工所関係についての議論はまだ進められていない状況となっております。今後はその状況により、町としましては先ほども答弁いたしましたけれどもできるだけバックアップはしていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 ぜひそのようにバックアップをして欲しいのですけれども、町が特に先導ではなくて農家の皆さん方が声を上げることも大事だと思います。前回の質問のなかでも例えば役場と

生産者で構成する農村生活研究会のメンバー云々ありました。普及所、J A、いろいろ協力をし合っ
てそういう場はあるわけですね。農産物をどうしようかという場はあるわけです。ですから、そう
いう場を活用して例えば第六次産業をどうするかなど町からのいろんな指導なり方針なりを出して、
やってはどうかみたいなことができるのではないかと思います。以前、給食センターで南風原の野
菜を使ってはどうかと言った時になかなか野菜の個数が集まらないから、加工品だったら加工して置
いておけば必要なときに使えるとかそういう話も実はあったのですね。そういう意味では加工したも
ののほうが非常に使いやすいのではないかと思います。例えばカボチャなどは粉末状にして
ケーキに入れたり、そばに入れたりいろいろやっているわけでしょう。そういうような活用の仕方を
現在やっているわけですから、そういうことがもっと大々的にできるのではないかと思います。こ
です。ですから、南風原町の農業と関係する所、消費する所、給食センターなどが入って、一緒に考
える委員会みたいなものを作って地産地消をもっと進めるかたちがあってもいいのではないかと思
います。農産物の地産地消を進める向上委員会みたいなものでもいいですし、加工するものでも
いいですし、そういうものを作って町が音頭を取ってやっていくべきではないかと思
います。そこは検討課題だと思いますけれども、今一度、どうですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 農産物の地産地消含めまして、今後の展望としましては、六次産業
であります加工関係が今後の課題ではないかと考えております。ただ、カットして袋に詰めるカット
野菜とは違いまして、加工品になりますとそれなりの商品開発関係も必要となってきます。今現在、
商品開発されているものはいろいろあります野菜のうち、まだ数的にはそうございませんので、そう
いった方面も進めながら今後は需要に合わせて町も進めていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 ぜひそのへん進めていって欲しいと思います。ファーマーズの建設から始
まって、もっともっと地産地消を進めていくということでの質問をやっているのですけれども、いろ
んな方法があると思うのですね。安全安心な野菜を地元の野菜を学校給食や保育所の子どもたち、皆
さん方に提供する云々もありますし、それから先ほどもありました町農産物を利用したメニューの開
発、そういったものを出す食堂、加工品の開発・研究、加工所、多品目の野菜農産物の栽培・生産、
いろんなことが考えられると思います。そういうことを考える所が今ないような気がする。ですから
そういう所をぜひ町が中心になってやって欲しいと思います。要望して次に移ります。

クーラー代の件です。特に根拠はないとのこと。それから、割高ではないとおっしゃっていま
すけれども、皆さん方同じような人口の町村にも調査をされたと思います。私が調査に行きましたら
南風原町からも電話がありましたというようなことを言っていました。それによりますと、読谷村の

鳳ホールでは、もちろんホールは4,000円でちょっと高いですが、中ホールが1,000円、その他の会議室は全て500円となっています。北谷町も舞台は3,000円、ホールだけだと2万円、その他の会議室は400円。ただ、北谷町では南風原町の1,000円と比べたらしかし安いということで、読谷と比べるとだいたいそういう値段だと私は思います。それから、先ほど答弁がありましたように、ちむぐくる館。防災センターの研修室が500円、文化センターが300円となっています。だいたいそういった空調設備の燃費から言えばそれでもちょっと高いと思いますがそんなものでしょう。やはり1,000円というのは割高じゃないですか。皆さん方の所にも声が聞こえているでしょう。ホールを借りる際、町内の皆さん方には割引があったり免除があったりしますけれども、空調について1時間1,000円はちょっと高いという声が皆さんに聞こえてきていませんか。特段高いとはおっしゃっていないのですけれども電気料からいって高いと思いますがいかがですか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 ただいま公民館研修室のクーラー使用料の件でご質問でございます。1,000円の根拠につきましては、先ほど教育長の答弁でもございましたように1,000円の根拠は出してございませんでしたが、条例改正の時に旧公民館従来どおりの提案をして承認をいただいたところです。それで今回の決算の連合審査会での説明と、総務民生委員会でも同様な質疑がございまして、そこでは根拠たる資料も出して町民には説明したほうが良いということがございました。それで設備関係を扱っている設計の事業所さんに町公民館の電気料金の算定をお願いしまして、こちらで計算をした数値がございます。空調機には室外機と室内機、それから全熱交換機というのがあるようです。その負荷容量と言いますか、それと合わせたキロワットで出した数値です。電気料金には基本料金というものがあります。その基本料金と消費電力を合わせまして、また夏場（7月1日から9月30日）と冬場の2つの料金設定の仕方がありますが、夏季の料金でしますと基本料金の日にちと1時間当たりの電気料金をプラスしたものに消費税込みの1,072円という数字が出ております。1,000円という金額は妥当ではないかと考えております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 今回の答弁は室外機、全熱交換機とかあって基本料金が高いということなのか。各部屋に入っているクーラーの燃費はどうなのですか。1,070円もかかりますか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 電気料につきましては、この算定からしますと1時間当たり225円と出ております。それから先ほどの基本料金ですが、ここは大きい施設ですので、業務用の電力で料金が発

生しているようです。その料金単価としましては、料金表から見ますと1キロワット当たり1711.80円で、それで計算をしてございます。月で言いますと基本料金が1日当たり768円になります。それに電気料金の金額を加えて消費税を加えますと、1,072円という数字が出ております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 私はこの空調の燃費がどんどん下がってきていて、町民からすればこれだけの施設を借りて1時間1,000円もかかるのかと、そんなにかかるわけではないとなるのです。中央公民館は大きなホールを抱えているわけですから、それだけ大きい伝熱交換機など必要なのでしょうか。そこを借りるときは、3,000円、4,000円とかかわるわけですがけれども、1つの会議室などを使うのに1時間1,000円もかかるのか。町民の皆さん方に生涯学習の場として利用してもらっているわけでしょう。それに全部、基本料金もおっ被せるというのはおかしいのではないですか。町民の福祉、町民の皆さんへ利用してもらおうと考えれば、せめてその部屋の料金ぐらいで済むのではないかと思います。そこまでくっ付けて割高にするのはどうか。ちむぐくる館でしたら500円、300円でしょう。だいたいそのようになるのではないかと思います。そのへんは検討する必要があると思いますけれども、全てものを町民におっ被せるのではなくて、実際に使った部分だけにするようにしてほしいのですが、今後の検討に値しませんか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 ただいまの質問にお答えします。基本的には使った人は応分の負担をしていただくというかたちで使用料はクーラーも合わせて設定をしてございます。公民館の使用料については、町民は減免をしてございますのでサークルなどで研修室を利用した分については1,000円の料金をいただいているところです。その他に学校開放の夜間照明においても照明使用料を設定してございますので、そこを利用していない町民からしても、受益者負担の視点で料金を設定してございます運営に当たってはそれでより公平になるのではないかという考え方を持っております。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 応分の負担。確かに使っている方にはある程度出してもらおう、それは分らないわけではないのですが、ただ、応分ということで基本料金もひっくるめてやるのはおかしいよと言っているわけです。例えば利用しない町民から使っている人がお金を払うべきではないかと言っていると、いろんな施設でそんなことを言ったら大変ですよ。では、学校を作るとして、学校に行かない子どもがいたら金を払わなくていいのかと、行く人たちで払いなさいとそうなりますか。ならないと思いますよ。運動場だってそうです。町民の福祉のために皆が利用できる、提供するということで

行政が作って、だから国からも県からも補助があってやるわけでしょう。その分はもちろん、ある程度負担をしてもらうのだけれども、それは燃費よりも多いような設定の仕方は止めたほうがいい、ぜひ検討をお願いします。

それから、国保特会のことはそのとおりですということです。私はこれまでどおり繰入を行う必要があるのではないかと思います。先ほども少し言いましたが、これまで国保特会に繰入をしたのは、料金のアップを抑えるということで、これは全国で行われたのですね。国からペナルティがあると言われながらも、やはり一般会計から入れて料金のアップを抑えるという意味があったわけです。だからそういう意味では、これだけ赤字が続いてくると料金アップにつながらないのかという不安が非常にあります。皆さん方は、今後、1県1つの保険になるということでそれに向かっているようですがそれも賛否両論あることまで問いませんけれども、また当面はアップしないというお答えをもらっています。ただ、担保が欲しいと思ったりするわけです。だからそのためには、一般会計から繰入をしておくのも必要ではないかということでこの質問をしたわけです。都道府県単位などの状況も踏まえながらということですので、ぜひ都道府県の状況としては一般会計からの繰入を控えているのかどうか、そのへんを調べて欲しいと思います。

鉄軌道に向けては、県では対処法を考えていないということですが、その前に国道329号沿いのことは4町村で10回ほどの勉強会を行っているとのことですが、そのなかでいろいろと出てきませんか。当町はどういうふうにしようと考えてきませんか。県については、対案を持っていないとのことですが、その勉強会の中でどういう話し合いがあって、どこまで進んでいるのか。その点をお伺いします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 10回行われているのは、鉄軌道ではなくてLRTについてでございます。この勉強会も主に専門の方々、研究なさっているの方々を呼んで、LRTについての知識、情報を収集している段階でございます。特に現在、国道329号のバイパスが建築中でございますが、それに伴って交通量が少なくなる、よって現国道329号を使うほうが現実的であろうというこれはあくまで想定と言いますか、そういったまだ仮の段階の研究でございます。計画と言うよりは、研究の段階と言うのが現実的ですね。おおむね、ルートとしては那覇から与那原の東浜なのか、はたまた旧佐敷町までというのもございますが、確たるルートもなくして今は各地方都市で走っているLRTの状況とどのようにすれば可能なのかというようなことについて、専門知識を有しているの方々からの情報を収集している段階でございます。

○議長 宮城清政君 11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 このLRTについても、また鉄軌道についても渋滞が日常化している沖縄に

とっては必要ではないのかと思います。ぜひ勉強会を進めて町の方針を出して頑張ってもらいたいと思います。与那原・西原にMICEの大型施設がくるということで、それに向けてちょっと活発になるのではないかと思います。ぜひやって欲しいと思います。

最後にシルバー人材センターですけれども、これまでいろいろ行ってきてファミリーサポートも含めてですがだいたい389万、約400万円の町予算を入れてやっているようですが、そのなかで活動している皆さん方を見ますと、まちづくりでも300件あまり、新規就職のほうで11件とか、ファミリーサポートでは798件とのこと。この近辺で一番進んでいるのは、南城市ではないかと思って調べてみました。向こうの人材センターで行っていること、それから沖縄県では読谷が連合に入っているのですが、そういったいろんな取組がされていて非常に効果が上がっているというようなことを見ますと、ぜひとも必要ではないかと思います。それから、団塊の世代の皆さん方の知恵や経験を利用できるという時代です。南城市では、月10万円の収入のある方もいらっしゃるようです。約280の方が1億89万くらいということで、年間でだいたい44、5万円やるというようなことがあるようです。それからその皆さん方は、それだけではなくてボランティア活動もする、尚巴志マラソンのときには道路の掃除をしたりという活動も地域の皆さんのためにやっているようです。そういった地域のシルバー人材センター。これまでのものを充実しながらとおっしゃっていますが、どう充実させるのか。私は、シルバー人材センターを設立するべきだと思います。以上です。